

「夢を語ろう」

2009年5月1日 社会福祉法人 江刺保育園

子どものとき、私たちは現実と空想の世界を行ったり来たりすることが出来ました。ピーターパンの物語の中に幼かった私たちも、何の違和感もなく溶け込んでいたように思います。幼稚園の頃まで空想が現実であり、現実が空想でした。そして、小学校に行きながら徐々に空想の世界に入ることが出来なくなってしまったように思います。徐々に成長するにつれて空想と現実がはっきりと区別するようになってしまいました。この現実にはありえないことを空想できる時代は子どもたちにとってとても大切な時間なのです。



この子ども時代の夢が、私たちの一生を生かすための大きな活力を生み出してくれるのです。幼い子供たちにとって沢山の空想は貴重な体験と同じです。これらの空想は自分のための夢となり、将来の進むべき道筋を自分で確認できるようになります。子どもにとってその夢が素晴らしい夢であるためには、たくさんの暖かな交流、家族からの大切にされている、愛されているという意識を子どもたちが持つことが必要です。そして、大人である私たち自身の夢を子どもたちに語ってあげることが大切なのだと思います。私たちは自分の子ども時代のことを思い出し、自分が楽しく遊んだことや、とても嬉しかったこと、自分の大好きな家族や友達のこと、自分の空想から生まれた夢のこと、たくさん語ってあげて欲しいのです。

絵本を使っても伝えることができます。その中で、お母さんとお父さんが出会い子どもが預かったこともしっかりお話しして欲しいのです。たとえ今、ご夫婦がうまくいかずに別々に生活をしていたとしても、子どもを授かり、子どもと一緒に生活している今現在に大きな喜びがあることをお話ししてあげて欲しいと思います。出会いがあり新しい命を授かったことの不思議な体験を話してあげて下さい。そして生きることは夢の世界よりももっと空想に満たされた冒険の世界であることを子どもと一緒に楽しんで欲しいと思います。

テレビやゲームから沢山の正義の味方が登場しています。心配なのは正義の名を借りて、大胆な破壊活動や暴力を子どもたちに見せつけていることです。正義のためなら破壊や命を抹殺してしまうことが許されると思っている子どもたちがたくさんいると思います。テレビのヒーローになりたいという夢を持つ子どもたちがたくさんいると思いますが、それで良いとは思えない時代になりました。本当の悪は何であるのか子どもたちには分からないと思います。子どもたちにとって本当に良い夢を持つことが難しい時代なのです。親である私たちが真実の良い夢を探し、子どもたちに辛抱強く語りかけてあげたいと思います。

材料 おからケーキ (約 10 個)

おから 50 g、ニンジン 30 g
ピーマン 30 g、玉ねぎ 30 g
小麦粉 150 g、砂糖 50 g
卵 1 個、バター 50 g
ベーキングパウダー 5 g
牛乳 50 cc

作り方

- ① 人参、玉ねぎ、ピーマンはみじん切りにする。バターは溶かしておく。
- ② 溶かしたバターに砂糖、卵、牛乳を入れよく混ぜ、切った野菜と小麦粉、ベーキングパウダーを入れて混ぜる。
- ③ アルミカップに入れてオーブントースターで焼く。

